

河田フェザー株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	河田フェザー株式会社では、10年前から羽毛資源のリサイクルに取り組み、現在羽毛製品回収拠点が全国1,000箇所以上、回収量が90tまで増加し、二酸化炭素の抑制162tに寄与しております。良質な羽毛を次世代に残すため、2024年までに回収拠点を2,000箇所以上、回収量200t、二酸化炭素抑制360tならびに環境SBT再エネ100%を目指します。また、社会的弱者の支援として、障がい者の就労支援の拡大化および貧困家庭へのお弁当配給モデルを近隣地域より推し進めております。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
経済	3. 7. 8. 9. 11. 12 . 13. 16. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羽毛資源の循環 (良質な羽毛を次世代に) ・ 女性活躍の推進 	羽毛製品回収拠点1108箇所 (2021年6月末) → 2000箇所 (2024年) 回収量90t (2021年) → 200t (2024年) CO2抑制162t (2021年) → 360t (2024年) 女性比率57% (2022年2月末) → 60% (2024年) 育休取得率100% (継続)、育休復帰率100% (継続)
社会	1. 2. 3. 4. 8. 11 12. 13. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者支援 ・ 貧困飢餓対策官民協働運営 	なごやハートステーションプロジェクトを通じて羽毛資源の循環に協力いただく名古屋市内の障がい者施設を30ヶ所にします (2024年まで)。(現在4ヶ所) 障がい者社会復帰1名以上を目指します。(過去2名復帰実績)
環境	12. 13. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際環境SBT※2020. 2021登録 ※パリ協定の水準に適合した企業が取り組む環境対策の目標 ・ 羽毛資源の循環 (CO2削減) 	2022年に社内で使用する電力のうち再生可能エネルギーの割合を100%にし、羽毛資源の循環を通じて、二酸化炭素排出量を2024年には現状の20%削減する。